

## ① 今後の行財政運営について

新型コロナの感染状況が、今後どのように推移していくのか、予測がつかない状況が続いている。新たな変異種が発生し、第7波・第8波と新たな課題を生んでいく可能性は捨てきれず、対応・対策を着実に講じていかなければならない。

一方で、ブースター接種や経口薬の普及により、コロナを克服して以前の生活に戻れるのではないかと、との見方もあるが、その場合も、取り組むべきことは山積している。たとえば、国などの事業者支援が終了した場合の、売上げが回復するまでのタイムラグへの対応や、区政運営を支えてくれている

各種団体への、コロナの影響による弱体化懸念への対応。新たな感染症への備えの充実やフレイル対策、教育や子育て支援など。現在予測できる課題だけでなく新たな課題も出てくる。さらには、すでに兆候が表れている人口動態の変化に対応した施策も必要となってくる。

国や都などが見逃しがちな案件や、新たに顕在化してくる問題・行政ニーズをしっかりと把握し、効果的な対応・対策を実施していくことが必要。来年度も、それらに対して迅速な予算措置を実施し、しっかりと対応していくべき、と提案。

区長から「引き続き、持続可能な財政基盤を維持しつつ、必要な施策を時期を逸することなく着実に実施していく」との答弁。

## ② 児童発達支援の充実について

発達障害者支援の法整備が充実され、社会全体の認識も高まってきたことなどにより、療育ニーズは年々増加している。相談事業や巡回訪問相談の件数は、大幅に増加しており、区内に児童発達支援や放課後等デイサービスなどの民間療育施設は増えているが、施設整備が追いつかず、他区の事業所を利用されている方が一定数いるなど、大きな課題となっている。区も、北上野2丁目福祉施設整備に合わせて、児童発達支援センターを整備し機能充実させることを検討しているが、区がすべての療育を担っていくのは難しく、民間療育施設の更なる整備に向けた取り組みが重要。しかし、民間施設が増加しても、その施設を有効に活用できなければ、利用者にとっての療育環境の向上には寄与しない。

発達障害は個々に特性が異なり、支援施設にも様々な特色がある。施設の能力が最大限活かされるようなコーディネート機能を備えた中核的拠点が必要で、今後整備される児童発達支援センターに拠点となって頂きたいが、施設が整備されるまでの間に、ソフトの環境整備を着実に進めておくべき。コーディネート機能を有するためには、各施設間の連携強化や情報共有を図るための会議体を発足させることや、発見精度や相談体制の質の向上にむけて、子育て支援関係所管との情報管理のシステム化や一元管理の検討など、情報連携の強化も推進すべき。

発見精度の更なる向上や、相談体制の充実、利用者にとって最適な療育を受けることができる環境整備など、施設が整備されることを待たずに対策を充実すべき、と提案。

区長から「福祉や保健、教育などの関係機関との連携を一層強化し、早期発見や相談体制の充実を図っていく。さらに、情報共有できる場づくりや、困難ケースに対する助言などに早期に取り組んでいく」との答弁。

## ③ 学校における働き方改革について

法改正による小学校の35人学級化や、男性育休の義務化、小学校の教科担任制導入など、教員の量と質の両面で、大変懸念される状況が目白押しとなっている。働き方改革を推し進め、働きやすく、やりがいをもって子どもたちと関わっていける環境整備がより重要になってくる。

区は平成30年に、『学校における働き方改革プラン』を作成し、出退勤管理システムの導入など業務の軽減・効率化や、副校長補佐や部活動指導員など人員体制の整備を着実に実施してきている。さらに、教員の意識改革や、保護者・地域への啓発など予算を伴う事業以外の取り組みも大変重要。

働き方改革プランスタートから1年で、今回の新型コロナ

のパンデミックが起こり、また、その対応策としても、教育現場におけるICT機器の導入・活用が、かつてないスピード感で進んでいる。コロナ禍での影響や、ICT化の推進など新たに加わった課題に、しっかりと対応できるようプランの見直しも含め、着実に働き方改革を推進していくべき。

働き方改革が進めば、子どもたちにも良い教育環境が確保され、さらには、本区を希望する教員が増えるのではないかと。量が増えれば質の確保にもつながる。今回のコロナ禍での影響や、ICT化の推進など新たなファクターへの対応を含め、今後どのように取り組んでいくのか、質問。

教育長から「新たに生じる業務への支援など、教員が教員でなければできないことに全力投球できる教育環境を目指して、学校における働き方改革を一層推進していく」との答弁。

- 昭和41年6月生まれ（現在55歳）
- 浅草寺幼稚園、待乳山小（現東浅草小）、蔵前中（現浅草中）、早稲田実業高、早稲田大学第一文学部卒
- 平成元年（株）西武百貨店入社秘書部配属
- 28歳で水野誠一参議院議員第一秘書。与党政調会長秘書として国政全般を学ぶ。衆議院議員政策秘書、都議会議員政策担当を務め、国政・都政の政策立案に携わる。
- 浅草町一町会青年部長、浅草神社西部若睦連合会副会長。

- 平成23年より台東区議会議員。（現在3期）
- ◇区議会 副議長  
企画総務委員会委員  
環境・安全安心特別委員会委員  
文化・観光特別委員会委員
- ◇会派 「つなぐプロジェクト」 幹事長

台東区議会議員 **早川太郎**